



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

上場会社名 株式会社IMAGICA GROUP 上場取引所 東
コード番号 6879 URL <https://www.imagicagroup.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 布施 信夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 森田 正和 (TEL) 03-5777-6295
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	46,686	12.3	967	△31.5	938	△29.8	700	△12.4
2023年3月期第2四半期	41,589	22.9	1,411	227.0	1,336	33.7	799	△52.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,113百万円(△23.2%) 2023年3月期第2四半期 2,750百万円(18.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	15.78	—
2023年3月期第2四半期	17.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	76,556	38,496	47.4
2023年3月期	81,888	40,303	44.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 36,257百万円 2023年3月期 36,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	6.2	4,000	3.4	3,500	△3.8	2,200	△43.1	49.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	44,741,467株	2023年3月期	44,741,467株
2024年3月期2Q	541,339株	2023年3月期	156,042株
2024年3月期2Q	44,397,288株	2023年3月期2Q	44,469,282株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気が緩やかに持ち直してきた一方で、急速な物価上昇、中東やウクライナ情勢をはじめとした地政学的リスクの顕在化など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループは2021年度に策定した中期経営計画「G-EST2025」（ジーエスト2025）の3年目を迎えるにあたり、2025年度に目指す姿「高収益体質のグループ」を実現するためには「収益力の向上」が重要課題であると改めて認識し、4つの基本戦略の方針を見直すとともに「ゲーム関連事業の拡大」を新たな戦略に加えしました。2023年度においては「基盤確立から成長路線へ舵をとる年」を方針とし、2025年度において、売上高1,100億円、営業利益率（のれん等償却前）8%、EBITDA110億円の実現に向けて取り組んでおります。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は466億86百万円（前年同四半期比12.3%増）、営業利益は9億67百万円（前年同四半期比31.5%減）、経常利益は9億38百万円（前年同四半期比29.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億円（前年同四半期比12.4%減）となりました。

②セグメント別の業績

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を従来の「映像制作サービス事業」から「映像制作技術サービス事業」へ変更しております。当該変更はセグメント名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

1)映像コンテンツ事業

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は127億70百万円（前年同四半期比41.2%増）、営業利益は89百万円（前年同四半期比90.3%増）となりました。

劇場映画・ドラマ作品は、11月3日公開の映画「ゴジラー1.0」、Netflix映画「ゾン100～ゾンビになるまでにしたい100のこと～」をはじめとした劇場映画や動画配信事業者向けの作品を計上したことから大幅な増収となりました。アニメーション作品は、テレビシリーズの受注が順調なことにより増収となりました。出版事業は、10月よりテレビアニメ放映を開始した、ライトノベル「菓屋のひとりごと」の販売好調等もあり増収となりました。一方、CM制作についてはWeb向けの受注は好調なもの、TV向けが低調に推移し減収となりました。

これらの結果、映像コンテンツ事業全体は増収増益となりました。

2)映像制作技術サービス事業

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は269億13百万円（前年同四半期比5.1%増）、営業利益は7億93百万円（前年同四半期比33.5%減）となりました。

国内のE2Eサービス^{*1}は、デジタルシネマ向けのサービスおよびローカライズ等が堅調に推移し増収となりました。

海外のE2Eサービス^{*1}は、劇場公開作品の増加に伴い、デジタルシネマ向けサービスや予告編制作サービスが伸長したことにより増収となりましたが、成長投資による固定費増加により減益となりました。

ゲーム関連事業^{*2}は、3DCG制作が3割伸長したこと等により増収となりました。

TV向けポストプロダクションサービスは、受注が低調に推移し減収減益となりました。

これらの結果、映像制作技術サービス事業全体は増収減益となりました。

※1：E2Eサービス：End to End。映画・ドラマ・アニメーション等の映像コンテンツを制作するポストプロダクションから、それらを劇場、テレビ、インターネットを介した動画配信などあらゆるメディアで流通させるために必要なローカライズ（吹替、字幕制作）、ディストリビューション（流通）のためのメディアサービスまでをワンストップで提供するサービスの総称。なお、海外のE2Eサービスの業績につきましては、決算日が12月31日であるため、当第2四半期連結累計期間には2023年1月1日～2023年6月30日の実績を反映しております。

※2：ゲーム関連事業：2D/3DCG制作、デバッグ・ソフトウェアテスト、ゲーム人材派遣・紹介等。

3)映像システム事業

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は80億94百万円(前年同四半期比1.4%減)、営業利益は6億71百万円(前年同四半期比5.7%減)となりました。

ハイスピードカメラは、半導体不足解消により生産が回復し、かつ受注が好調に推移したことで大幅な増収となりました。一方、放送映像システムは、前年の大型案件の計上による反動もあり減収となりました。光学計測、及び映像・画像処理LSIについては、市場環境の悪化等により減収減益となりました。

これらの結果、映像システム事業全体は減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて56億65百万円(12.6%)減少し、393億5百万円となりました。

これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産、並びに現金及び預金が減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3億33百万円(0.9%)増加し、372億50百万円となりました。

これは主に、建設仮勘定が減少した一方で、建物及び構築物、有形固定資産のその他、並びに為替換算の影響によりのれんが増加したことによるものであります。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて53億31百万円(6.5%)減少し、765億56百万円となりました。

②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて31億4百万円(9.3%)減少し、301億円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金、並びに契約負債が減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4億20百万円(5.0%)減少し、79億58百万円となりました。

これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて35億24百万円(8.5%)減少し、380億59百万円となりました。

③純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて18億7百万円(4.5%)減少し、384億96百万円となりました。

これは主に、非支配株主持分が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の業績予想につきましては、2023年5月11日に公表した数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,813,769	4,868,248
受取手形、売掛金及び契約資産	21,937,480	18,119,251
棚卸資産	12,460,112	12,621,406
その他	2,868,953	3,803,332
貸倒引当金	△109,328	△106,609
流動資産合計	44,970,987	39,305,629
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,213,112	12,823,455
減価償却累計額	△7,584,337	△7,888,933
減損損失累計額	△619,501	△612,947
建物及び構築物(純額)	4,009,273	4,321,573
機械装置及び運搬具	6,210,738	6,265,251
減価償却累計額	△5,525,748	△5,574,998
減損損失累計額	△139,607	△138,839
機械装置及び運搬具(純額)	545,383	551,413
土地	921,363	921,363
リース資産	5,991,152	6,199,703
減価償却累計額	△871,877	△949,083
減損損失累計額	△121,127	△119,309
リース資産(純額)	4,998,147	5,131,310
建設仮勘定	1,711,600	1,223,766
その他	7,801,738	8,788,964
減価償却累計額	△5,377,680	△5,982,456
減損損失累計額	△135,685	△143,568
その他(純額)	2,288,372	2,662,939
有形固定資産合計	14,474,140	14,812,366
無形固定資産		
のれん	11,780,285	11,999,408
その他	2,460,007	2,599,118
無形固定資産合計	14,240,292	14,598,527
投資その他の資産		
投資有価証券	2,876,524	2,833,722
関係会社株式	514,042	497,171
敷金及び保証金	2,048,952	2,053,219
繰延税金資産	2,420,133	2,195,630
その他	490,206	419,754
貸倒引当金	△147,088	△159,774
投資その他の資産合計	8,202,771	7,839,724
固定資産合計	36,917,204	37,250,619
資産合計	81,888,191	76,556,248

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,133,738	5,592,806
短期借入金	6,432,680	6,686,286
リース債務	881,977	961,325
未払金	1,769,403	1,867,424
未払法人税等	1,172,785	530,040
契約負債	7,591,449	6,259,951
賞与引当金	1,281,691	891,046
受注損失引当金	1,100	2,200
訴訟損失引当金	630,660	—
資産除去債務	23,181	—
その他	6,286,605	7,309,525
流動負債合計	33,205,274	30,100,606
固定負債		
長期借入金	1,366,665	913,458
リース債務	4,498,102	4,644,918
長期未払金	252,767	156,543
繰延税金負債	196,598	212,691
退職給付に係る負債	1,241,071	1,256,118
資産除去債務	653,518	663,773
その他	170,257	111,284
固定負債合計	8,378,982	7,958,788
負債合計	41,584,257	38,059,394
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,306,002	3,306,002
資本剰余金	13,020,018	12,155,677
利益剰余金	16,982,736	17,013,879
自己株式	△158,530	△411,349
株主資本合計	33,150,226	32,064,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	713,553	846,113
繰延ヘッジ損益	20,740	38,582
土地再評価差額金	△17,933	△17,933
為替換算調整勘定	2,237,081	3,324,225
退職給付に係る調整累計額	2,828	2,191
その他の包括利益累計額合計	2,956,270	4,193,179
非支配株主持分	4,197,436	2,239,463
純資産合計	40,303,934	38,496,854
負債純資産合計	81,888,191	76,556,248

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	41,589,200	46,686,164
売上原価	29,497,045	33,821,236
売上総利益	12,092,154	12,864,927
販売費及び一般管理費	10,680,221	11,897,303
営業利益	1,411,932	967,624
営業外収益		
受取利息	640	4,933
受取配当金	16,712	23,914
為替差益	46,133	225,834
その他	90,049	78,460
営業外収益合計	153,536	333,143
営業外費用		
支払利息	113,758	182,644
持分法による投資損失	524	9,071
投資事業組合管理費	—	96,567
その他	114,350	74,360
営業外費用合計	228,632	362,644
経常利益	1,336,836	938,123
特別利益		
固定資産売却益	7,001	252
投資有価証券売却益	28,000	290,067
訴訟損失引当金戻入額	—	234,162
移転補償金	277,370	—
その他	6,168	—
特別利益合計	318,540	524,482
特別損失		
固定資産除却損	1,894	1,283
減損損失	9,048	15,430
移転関連費用	50,263	—
割増退職金	170,228	—
その他	3,272	—
特別損失合計	234,707	16,714
税金等調整前四半期純利益	1,420,669	1,445,891
法人税等	548,238	569,768
四半期純利益	872,430	876,123
非支配株主に帰属する四半期純利益	72,780	175,695
親会社株主に帰属する四半期純利益	799,650	700,427

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	872,430	876,123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,838	136,875
繰延ヘッジ損益	—	17,842
為替換算調整勘定	1,915,588	1,083,612
退職給付に係る調整額	△330	△637
その他の包括利益合計	1,878,418	1,237,693
四半期包括利益	2,750,849	2,113,816
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,661,138	1,937,336
非支配株主に係る四半期包括利益	89,711	176,480

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 技術サービス	映像 システム	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	9,029,270	24,727,181	7,823,188	41,579,640	9,559	41,589,200
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	16,549	868,927	389,104	1,274,581	△1,274,581	—
計	9,045,820	25,596,109	8,212,292	42,854,222	△1,265,022	41,589,200
セグメント利益	46,870	1,192,524	712,740	1,952,135	△540,202	1,411,932

(注) 1. セグメント利益の調整額△540,202千円は、当社に係る損益1,365,953千円及びセグメント間取引消去△1,906,156千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 技術サービス	映像 システム	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	12,729,065	26,245,479	7,707,197	46,681,742	4,421	46,686,164
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	41,332	668,366	387,695	1,097,393	△1,097,393	—
計	12,770,397	26,913,845	8,094,892	47,779,136	△1,092,971	46,686,164
セグメント利益	89,192	793,593	671,926	1,554,713	△587,088	967,624

(注) 1. セグメント利益の調整額△587,088千円は、当社に係る損益1,037,966千円及びセグメント間取引消去△1,625,055千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を従来の「映像制作サービス」から「映像制作技術サービス」へ変更しております。当該名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。